

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

言葉でつなぐ郷土愛 手づくり紙芝居を 方言で読み聞かせ

東根市商工会女性部(山形県)



東根市はさくらんぼ生産量が日本一のまちであり、ブランド品種「佐藤錦」発祥の地でもあります。また「子育てするなら東根市」を継続して発信しており、子ども・子育て支援に力をいれています。

近年、核家族が増加し、親世代が「方言」を使わなくなってきたことから、子どもたちが「方言」や「地域の文化」に触れる機会が減ってきているように感じていました。

そこで、私たちは紙芝居を通して地域文化に触れてもらい、地元への理解や思いを深め、東根市に興味をもってもらうことで、郷土愛を育んでもらうきっかけになればと思い、「方言」を使った紙芝居を制作することにしました。

紙芝居の題材は地域に伝わる民話などから選んでいます。絵が得意な部員に原画を描いてもらい、ちぎり絵や色を染める作業は部員が集まって行いま

高齢者施設への花の寄贈と 幼稚園・保育園の 訪問活動で地域振興

佐賀市北商工会女性部(佐賀県)



高齢者福祉施設に花の寄せ植えを届け続ける女性部のメンバー。下の写真は施設利用者さんと



上／制作した紙芝居 左／女性部員が集まって制作 右／学校での読み聞かせの様子

した。
今回制作した作品では、不要になった布や端切れを持ち寄って人物の服装などに使用しています。
作品の完成後は、市内の小学校などを訪問して読み聞かせをしています。事業を始めて3年目ですが、年々読み

聞かせの依頼が増えています。今後、事業を継続し、地域や子どもたちとのつながりを大切にしつつ、明るいまちづくりに貢献していきます。



幼稚園・保育園への訪問活動の様子

佐賀市北商工会は、2009年に大和町、富士町、三瀬村の3商工会が合併して誕生しました。女性部では、「女性パワーで元気な地域づくり」を合い言葉に、日々活動に励んでいます。毎年6月10日の「商工会の日」には、地域振興を目的とした2つの活動を実施しています。
1つ目は、管内の高齢者福祉施設への花の寄せ植えの寄贈です。施設訪問は大和町商工会時代の1985年から始め、今年で40回目を迎えました。生花店を営む女性部員が指導し、ジニアや日草などの色鮮やかな花苗を、心を込めて植えていきます。
寄せ植えを施設に届けると、利用者さんたちはその明るい色合いに心が和み、「毎年楽しみにしています」と笑

顔で迎えてくれます。
「花があると気分が明るくなる」ほかの利用者と会話が弾むようになった」という声が、活動の励みとなっています。
2つ目は、管内の幼稚園・保育園への訪問活動です。小さい頃から商工会に親しみをもってほしいとの思いから、園児たちに商工会の役割をわかりやすく説明します。園児たちは興味津々で耳を傾け、商工会のオリジナルせんべいを受け取るうれしそうに笑顔を見せます。
家に帰ると、園児たちはその日学んだことを家族に話し、家庭でも話題にしてくれるのです。その様子に、部員たちは「次世代へつながる大切な架け橋」であることを感じ、これからも続けていこうと気持ちを新たにしています。
地域との絆を大切にし、明るい未来に向けて歩み続ける女性部。これからも、地域の皆様との関わりを深め、地域に明かりを灯し続ける存在でありたいと願っています。